

名物ホール「馬の背」の背の第2打地点に新設された4番パー4のティーイングエリアが雄大な阿蘇外輪山が360度パノラマで見渡せる新緑がまぶしい1番スタートホール

九州山道の場報満載

16年熊本地震で被災、休業…県内最後の営業再開

日本のベスト100コース

4年1カ月ぶり復活

くまもと阿蘇カントリークラブ湯の谷コース

熊本最古

熊本県で最古の歴史を持つ、くまもと阿蘇カントリークラブ湯の谷コース(熊本県南阿蘇村)があす15日、4年1カ月ぶりにオープンする。2016年4月の熊本地震で大きな被害を受け休業を余儀なくされてきたが、コースの修復・整備が美を結び、熊本県内のゴルフ場では最後となる営業再開にこぎ着けた。「馬の背」と呼ばれた名物ホール3番パー5をパー3に改造し、パー71のコースとして再生。コロナ禍で開場イベントなどは行わないが、名匠・井上誠一が監修し、日本のベスト100コースに選ばれた湯の谷コースが再びゴルフファアの挑戦を受け止める。

(中島 泉)

名物ホール3番「馬の背」改造 パー71コースで再生

通称「湯の谷」と呼ぶ高くピークになっていくノラマが望まれ、右は阿蘇五岳の杵島岳、正面と左には外輪山が雄大に広がり、息をのむほどの景観が堪能できる。4番は馬の背から旧4番(パー3)のグリーンに向かう右ドックグレッグのパー4となり、トータルはパー71に変わった。

営業再開を前に永畑雄一郎総支配人は「被災直後はどこから手を付けなければいいのかわからないほど被害は甚大だった。よくゴルフ場の形に戻ってくれたと思うと感慨無量。とにかくうれしい」と感謝の面持ちだ。99年再春館レディース優勝の平尾南生子プロが支配人に就任しフロント業務も強化。乗用カート50台にはiPadゴルフカートナビを装備し、よりスムーズなプレイをアシストする。約1200人の旧会員に加え1300人が新規加入してメンバーの期待も高まる。馬の背の眺



社長の監修し、馬の背の手に新たなグリーンを作り、3番をパー3に改造した。

「馬の背」には新たにティーイングエリアを作った。ここは景色は抜群で絶好のフォロースポット。気持ちよくティーショットを打っていただきたい」と吉村プロ。新設の4番ティ1は360度阿蘇のパ



メンバー、ビジター問わず 会員カード配布

○…湯の谷コースではメンバー、ビジターを問わず、来場した全員に復旧記念特典として自動チェックイン機能付き湯の谷会員カードを配布する。カードはポイントカードを兼ね、1ラウンド(18ホール)ごとに1杯がもらえ、3杯たまると次回の18ホールプレー料金が無料となる(諸経費500円程度は除く)。今年中の来場者が対象。

被災2年目から本格的復旧

2016年の熊本地震で湯の谷コースは甚大な被害を受けた。4月14日夜、16日未明の2度、震度7の強い地震が襲った。コースのある南阿蘇地区は国道57号線から南阿蘇村に向かうルートに架かる阿蘇大橋(通称赤橋)が崩落するなど激しい被害を受けた。

コースは「馬の背」の3番パー5のティーイングエリアが崩れ落ち、フェアウエーに亀裂と段差ができた。阿蘇登山道が崩壊し11、12番に土砂が流入。13番のグリーンは半分が崩れ落ちた。再開の見通しも立たないほどの惨状だった。コースは荒れ放題になったが、約1年半後に行政の補助金交付が決まり、オーナーの米澤義一氏が再建を決意。被災して2年目から本格的に湯の谷コース復旧の動きが始まった。

熊本地震では県内ほぼ全てのゴルフ場が被災し、休業を余儀なくされた。被害が大きかった南阿蘇地区はあつまる阿蘇赤水、阿蘇リゾートグランヴィリオが16年5月末まで、阿蘇大津は同7月9日まで休業。阿蘇グリーンヒルは17年4月1日の開業まで約1年間クローズが続いた。阿蘇東急は2年後の18年7月にアウト9ホールのみを営業を始め、昨年4月から全18ホールの営業を再開。休業が続くのは湯の谷コースのみとなっていた。

ティーイングエリア横まで土砂崩れが迫った12番には震災時の写真が



16年熊本地震で被災、休業…県内最後の営業再開